

<http://www.hagihara.co.jp/>

最新のトピックスをはじめ、当社に関する
さまざまな情報がご覧いただけます。



岡山県鳥 キジ

株主の皆様には、平素よりご高配をいただき厚く御礼申し上げます。

萩原工業の第54期（平成27年11月1日から平成28年10月31日まで）が終了しましたので、ここにご報告申し上げます。

当社を取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調にはあるものの、新興国や資源国等の景気下振れリスク、さらに国際情勢に起因する為替や資源価格の急変リスクの高まりなど、不透明な事業環境となりました。このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画（DH56）の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでまいりました。

今後もこれまで培い蓄えてきた能力を活用し、戦略的リスクへ果敢に挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経営方針

当社グループは、「長年培ったフラットヤーン技術を大事にしながら、常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう」を経営理念として掲げ、顧客の便益性に応え最高の品質とサービスを提供し、提案型マーケティングと圧倒的なコスト競争力を持ち、独創的な製品を開発することを基本方針といたしております。

平成29年10月期におきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」をスローガンとする中期経営計画（DH56）の達成に向けて、「戦略製品の販売強化と市場開拓」、「海外売上の拡大」、「ものづくりプロセスの再構築」、「新技術融合による顧客価値の創造」といった施策を実行してまいります。そして、さらなる事業の成長を目指して、ステークホルダーの皆様とともに社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

対処すべき課題

当社グループは、激しさを増す市場競争の中で、中期経営計画（DH56）の実行により、フラットヤーン関連事業で確固たる地位を築くことに努めます。

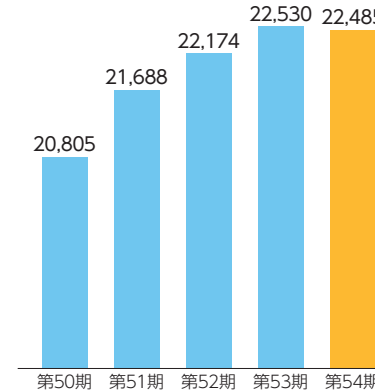
そのためには、徹底した安全と品質向上というものづくりの基本をベースに、マーケティング力の強化、要素技術の磨き上げによる製品競争力の向上と、生産効率のアップによるコスト競争力の向上により、一層の経営体質の強化にグループ一丸となって取り組んでまいります。



代表取締役社長 浅野和志

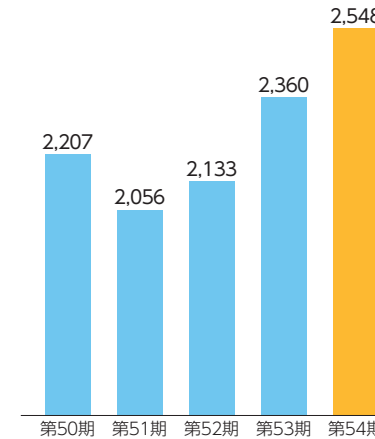
売上高(連結)

(単位：百万円)



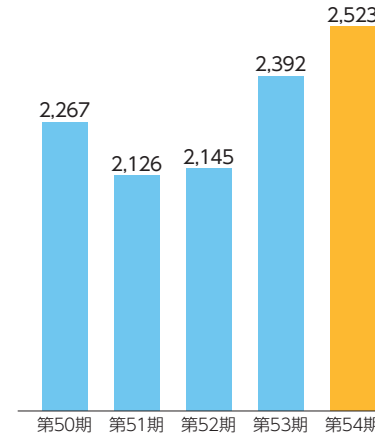
営業利益(連結)

(単位：百万円)



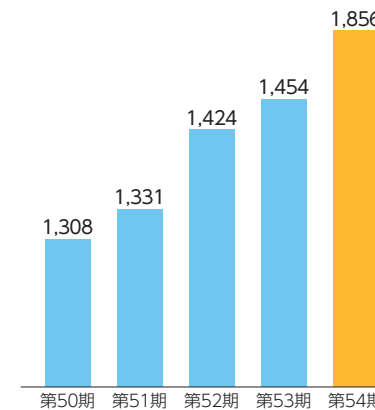
経常利益(連結)

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

(単位：百万円)



平成28年10月期 決算サマリー(連結)

■ 売上高
224億85百万円
前期比 **0.2%** 減

■ 営業利益
25億48百万円
前期比 **7.9%** 増

■ 経常利益
25億23百万円
前期比 **5.5%** 増

■ 親会社株主に帰属する当期純利益
18億56百万円
前期比 **27.6%** 増

Dynamic HAGIHARA 56 (DH56) 果敢に挑戦、新たな躍動

数値状況

(単位：百万円)

	2016年10月期 実績	2017年10月期 計画	2018年10月期 DH56最終目標
売上高	22,485	25,000	27,000
経常利益	2,523	2,600	2,800

基本方針

戦略製品の販売強化と市場開拓

海外売上の拡大

ものづくりプロセスの再構築

新技術融合による顧客価値の創造

当連結会計年度の業績は、売上高224億85百万円（前期比0.2%減）、営業利益25億48百万円（同7.9%増）、経常利益25億23百万円（同5.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は18億56百万円（同27.6%増）となりました。

2018年10月期を最終年度とする中期経営計画（DH56）の最終目標達成のためにグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主優待制度のご案内

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主の皆様にも長期間、当社株式を保有していただくことを目的とし、2016年10月末の株主様より株主優待制度を導入いたしました。

10月末の保有株式数と継続保有期間に応じて、岡山県特産品や自社製品等を盛り込んだオリジナルカタログからお好みの商品をお選びいただけます。

金額の範囲内でお好みの商品を複数お選びいただくこともできます。

2016年10月期 株主優待の商品例

100株～500株未満（継続保有3年未満）

1,000円相当

- mt マスキングテープ
- エコファミリーシート（3畳）
- QUOカード



100株～500株未満（継続保有3年以上）

2,000円相当

- 置縁小物ギフトセット
- 自社製品詰め合わせ
- 魚沼産こしひかり



500株以上（継続保有3年未満）

3,000円相当

- 炭インソールスリッパセット
- エコファミリーシート（12畳）
- 神戸スイーツ牧場アイス



500株以上（継続保有3年以上）

6,000円相当

- 高級フルーツ缶詰ギフト
- 自社製品詰め合わせ
- 宮崎牛すきしゃぶ用



社会貢献活動への寄付

公益財団法人大原美術館／国際医療ボランティア団体AMDA／日本赤十字社

※継続保有3年以上とは、毎年10月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、10月31日及び4月30日現在の当社株主名簿に同一株主番号で、7回以上連続で記載または記録された状態です。

※対象となる株主様には、1月下旬に別途ご案内をお送りいたします。

合成樹脂加工製品事業

概況

合成樹脂加工製品事業におきましては、国内向け原系販売、粘着テープ・カーペット基材等の生活関連資材及び機能性・汎用シートを中心とする建築資材は堅調に推移する一方、フレコン袋を中心とする一般産業資材は、販売が伸び悩みました。コンクリート補強繊維は、国内向けが好調でしたが、海外向けは主要プロジェクトの終了と競争激化が重なり、低調でした。また、海外向け農業資材用メルトタッククロス、ラミネートクロスは堅調に推移しました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」及び中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、販売が伸び悩む中、販売価格の維持と原材料の最適調達、固定費削減により収益性が改善しました。

トピックス

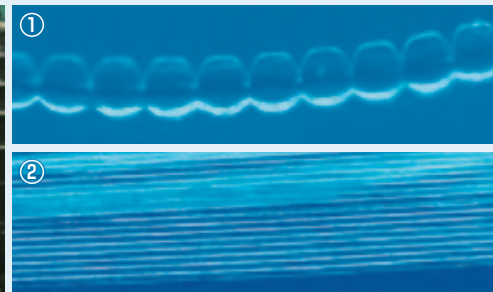
新開発!「超繊維 新 arata」

長年培ってきたフラットヤーン技術を基に生まれたコンクリート補強繊維「バルチップ」は、建物やトンネルなど、国内外を問わず数多くのコンクリート構造物に使われています。また、バルチップの素材であるポリプロピレンは、コンクリート中の高アルカリ環境下においても高い耐久性を維持します。

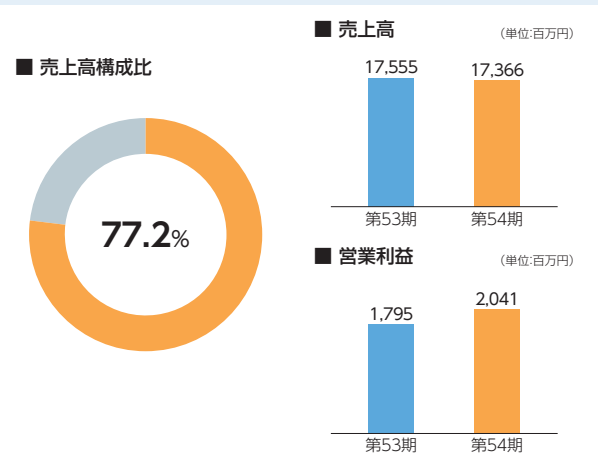
今回当社が開発した「超繊維 新 arata」は、高温の排気熱によるコンクリート舗装の損傷を抑制することができる、特殊な耐熱コンクリート用のポリプロピレン短繊維です。従来のバルチップより約25%細く、さらに独自の連糸形状によって、コンクリートの中での繊維の良好な分散性を実現しました。これにより、従来のバルチップでは対応できなかった、滑走路での航空機の高温排気熱によるコンクリートの爆裂を抑制することができます。これからも技術力を高め、新たな物づくりに挑戦していきます。



超繊維 新 arata



①連糸形状断面写真 ②連糸形状平面写真



機械製品事業

概況

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、海外向けでは光学系特殊機及び電池系特殊機が、国内向けでは軟包装系検査巻直機、ラベル関係・剥離紙等紙分野の販売が順調でした。

また、海外向け軟包装系は中国市場の低迷や海外メーカーとの競争激化がありましたが堅調に推移しました。

押出関連機器は、食品容器用及び高性能樹脂用が低調、リサイクル関連機器も、原料価格の低迷による慎重な設備投資姿勢の継続により低調な動きになりました。

トピックス

最新型「2段2軸センタードライブターレット型スリッター」

作業負担の軽減と処理能力向上を実現した新型スリッターを開発しました。巻取部を上下2段にそれぞれ2つ配し、上下とも一方の巻取りが完了するともう一方と自動で入れ替わるターレット装置を採用しています。巻取部の切り替えを手作業から自動化することで、機械の停止時間を汎用機の半分以下に短縮し、同時に作業者の作業負担も軽減することができました。また、フィルムの巻取能力も汎用機に比べ約1.5倍アップしています。

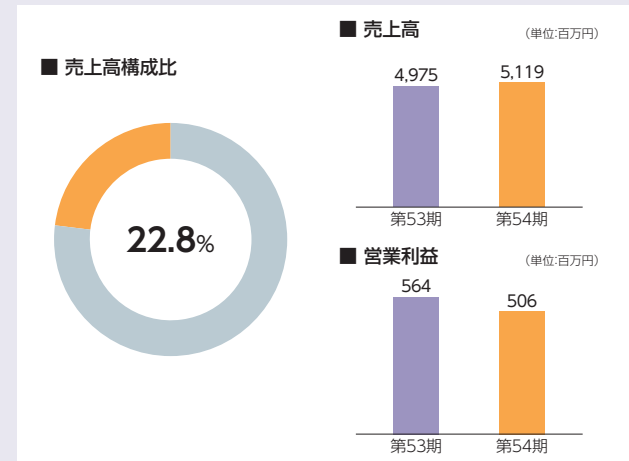
平成28年10月に東京で開催された包装機器の国内最大展示会「TOKYO PACK 2016 (東京国際包装展)」に出展し、多くのお客様より高評価をいただきました。また今年は、東南アジアの軟包材の製造拠点であるタイで開催される展示会にも出展予定です。国内外の市場に積極的に販売していきます。



2段2軸センタードライブターレット型スリッター



TOKYO PACK 2016 の様子



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 平成27年10月31日現在	当期 平成28年10月31日現在		前期 平成27年10月31日現在	当期 平成28年10月31日現在
資産の部			負債の部		
Point ① 流動資産	15,456	15,785	Point ③ 流動負債	6,093	5,450
Point ② 固定資産	9,275	9,088	Point ③ 固定負債	1,483	1,474
			負債合計	7,577	6,924
有形固定資産	7,245	7,027	純資産の部		
無形固定資産	184	137	株主資本	16,381	17,840
投資その他の資産	1,845	1,923	資本金	1,778	1,778
資産合計	24,731	24,874	資本剰余金	1,393	1,393
			利益剰余金	13,605	15,064
			自己株式	△ 395	△ 396
			その他の包括利益累計額	771	108
			その他有価証券評価差額金	36	22
			繰延ヘッジ損益	3	△ 2
			為替換算調整勘定	453	17
			退職給付に係る調整累計額	277	71
			非支配株主持分	1	1
			純資産合計	17,154	17,949
			負債純資産合計	24,731	24,874

Point ① 流動資産

流動資産は、現金及び預金が増加したこと等により前期末に比べて増加し、157億85百万円となりました。

Point ② 固定資産

固定資産は、生産設備の合理化投資を行いました。円高により海外子会社の固定資産の円換算額が減少したこと等により前期末に比べて減少し、90億88百万円となりました。

Point ③ 流動負債、固定負債

流動負債は、短期借入金が増加したこと等により前期末に比べて減少し、54億50百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末に比べて減少し、14億74百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 自平成26年11月1日 至平成27年10月31日	当期 自平成27年11月1日 至平成28年10月31日
売上高	22,530	22,485
売上原価	16,555	16,182
売上総利益	5,975	6,303
販売費及び一般管理費	3,614	3,755
Point ④ 営業利益	2,360	2,548
営業外収益	146	89
営業外費用	114	114
Point ④ 経常利益	2,392	2,523
特別利益	—	322
特別損失	45	9
税金等調整前当期純利益	2,346	2,835
法人税、住民税及び事業税	854	928
法人税等調整額	37	50
当期純利益	1,454	1,856
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
Point ④ 親会社株主に帰属する当期純利益	1,454	1,856

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point ④ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

海外向けラミクロスシート、コンクリート補強繊維、スリッター関連機器の拡販に注力した結果、営業利益25億48百万円、経常利益25億23百万円、親会社株主に帰属する当期純利益18億56百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 自平成26年11月1日 至平成27年10月31日	当期 自平成27年11月1日 至平成28年10月31日
Point ⑤ 営業活動による キャッシュ・フロー	1,762	3,904
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 815	△ 1,320
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,117	△ 739
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 2	△ 56
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	△ 173	1,788
現金及び現金同等物の 期首残高	3,308	3,134
現金及び現金同等物の 期末残高	3,134	4,923

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益の増加及び売上債権の回収等による増加により、39億4百万円となりました。

■株式に関する事項

(平成28年10月31日現在)

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式総数	7,448,800株
単元株式数	100株
株主数	3,685名

大株主（上位10名）

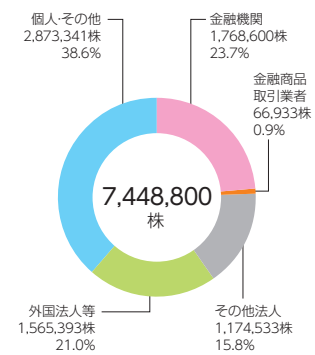
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	717	9.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	529	7.32
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	387	5.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	351	4.85
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	276	3.82
萩原邦章	263	3.63
萩原工業従業員持株会	233	3.23
日本ポリケム株式会社	200	2.76
萩原賦一	197	2.72
DEUTSCHE BANK AG LONDON - PB NON-TREATY CLIENTS 613	113	1.56

(注)1. 当社は自己株式215,132株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

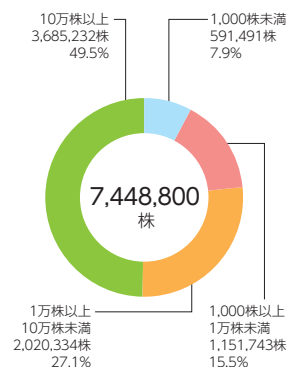
■株式分布状況

(平成28年10月31日現在)

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



■会社概要

(平成28年10月31日現在)

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地 TEL.086-440-0860 FAX.086-440-0869
設立	昭和37年（1962年）11月29日
資本金	17億78百万円
従業員数	417名
主な事業内容	ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

■役員

(平成29年1月24日現在)

【取締役】	
代表取締役会長	萩原 邦章
代表取締役社長	社長執行役員 浅野 和志
取締役	専務執行役員 田中 稔一
取締役	執行役員 笹原 義博
取締役	執行役員 吉田 淳一
社外取締役	中原 裕二
社外取締役	秋草 史幸

【監査役】	
常勤監査役	吉川 龍男
監査役	石井 辰彦
監査役	三宅 孝治

【執行役員】	
執行役員	浅野 幾弘
執行役員	飯山 辰彦
執行役員	松浦 正幸
執行役員	藤田 学
執行役員	國定 佳孝

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	7856
事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月
基準日	定時株主総会 10月31日 期末配当 10月31日 中間配当 4月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 当社ホームページアドレス http://www.hagihara.co.jp/ ※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777（通話料無料）

株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。